

愛育班員バッジ
中央に“双葉”外側に“なでしこの花”

甲府市愛育だより

愛育会の 次の10年に向けて

甲府市愛育連合会 会長 山本 秀樹



甲府市愛育連合会は昨年、50周年を迎えました。日頃より、各地区班員はもとより愛育会活動を支えてくださる皆様に厚く御礼申し上げます。

継続は力なりと申しますが、奉仕活動を続けるためには人材の力が必要不可欠です。しかし現在、多くの地区で人材の引継ぎが難しい状況に直面しています。地区ごとに様々な課題があると把握しており、市愛連全体で解決策を模索しながら、愛育会活動をさらに前進させたいと思います。次の60周年に向けて皆様とともに「声かけ・見守り」を基本とし、今後も「愛育のこころ」を繋いでいきたいと考えております。今後とも愛育会活動にご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

愛育会結成・再結成

富士川地区

住民の皆様が安心して健やかに暮らしていくことを目指し、愛育会を設立しました。皆さまとの絆を大切にしながら愛育会活動をしていきます。



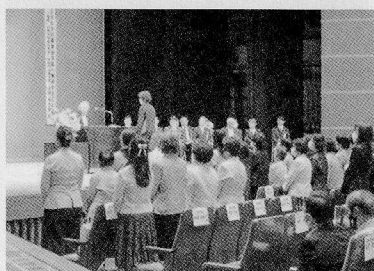
相川地区

7年間休会だった愛育会を、少子高齢化が進む中でなんとか再結成しようと、10名が集まりました。小さな一歩から支え合い、笑顔溢れる会を目指しています。



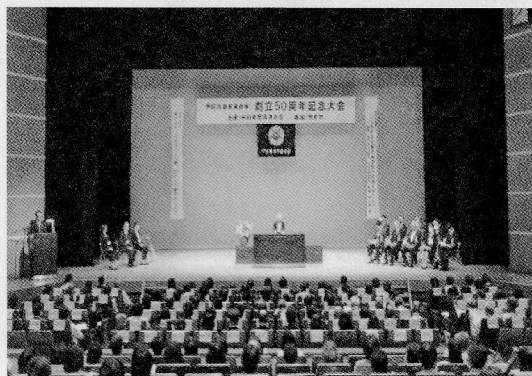
甲府市愛育連合会 創立50周年記念大会開催

今後のさらなる発展を願い、5月24日に創立50周年記念大会を開催しました。第一部の記念式典では、樋口雄一市長様をはじめ、多くのご来賓の方々からご祝辞をいただきました。また、甲府市愛育連合会会長表彰を行い、これまでの尽力に感謝を



表しました。最後に、スライドを用いて50年の歩みを振り返りました。

第二部では、山梨大学特任教授・山縣然太郎氏による特別記念講演を行いました。演題は「これからの愛育会活動へ期待すること」でした。令和4年6月に「子ども基本法」が成立し、令和5年4月に施行されたことを受け、講演では、こども家庭庁が「こどもまんなか社会」の実現を目指していることが語られました。この「こどもまんなか社会」とは、子どもや若者の声を聴き、子どもに関する取組や政策を中心に据えるものです。



「こどもまんなかアクション」として、すべての子育て家庭を対象に、地域のニーズに応じた様々な支援の充実が求められています。この講演を通じて、今こそ愛育会の活動がその役割を果たす時であることを再認識する機会となりました。

